



日本骨髄バンクの現状 (2019年9月末現在)

	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,668	3,937	523,108	806,616
患者登録者数	255	197	1,963	57,604
移植例数	107	88	—	23,628

■9月年代別ドナー登録者数(現在数)

10代 5,394人

20代 80,563人

30代 139,330人

40代 222,746人

50代 75,075人

■9月の20歳未満の登録者 248人

■9月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,300人、献血併行型集団登録会／2,520人、集団登録会／3人、その他／114人

■9月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：808件

■骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数)：1,775件

■DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数)：885件

■国際協力の現状(2019年4月～9月)

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数：2件(台湾・NMDP) 累計移植数：193件

<国内ドナー⇒海外患者> 提供数：6件(KMDP3件、NMDP・香港・イタリア各1件) 累計提供数：280件

*ご参考：海外提供6件のうち2件はPBです。

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 2019年度上期の移植数、ドナー登録者数の実績について

2019年度上期の移植数は626件で、前年同期間(611件)より15件増加しました。内訳は〔国内ドナー⇒国内患者〕が608件から618件で10件増加、海外バンクを介した〔海外ドナー⇒国内患者〕が1件から2件で1件増加、〔国内ドナー⇒海外患者〕が2件から6件で4件増加しました。また、末梢血幹細胞移植は123件で前年同期間(96件)より27件増加し、累計で808件となりました。患者さんの登録数は前年同期間の1,387人より46人多い1,433人(国内1,118人、海外315人)でした。

ドナー登録者数は9月末現在で523,108人となりました。今年度上期の新規ドナー登録者数は26,417人で、前年同期間の17,494人より8,923人増加しました。地域別では44都道府県で前年を上回りました。若年層(20代)の登録が8月末で8万人を超え、順調に推移しています。

2 俳優・木下ほうかさん、初代「骨髄バンクアンバサダー」に

このたび、骨髄バンクと一般のみなさんをつなぐ親善大使の役割を担う「骨髄バンクアンバサダー」を新設しました。「各界でご活躍され、全国的に知名度のある方。若い人たちへの発信力があり、骨髄バンクに深い理解のある方。そして骨髄バンクのPRなどに積極的にご協力いただける方」をいいます。

初代骨髄バンクアンバサダーには、骨髄バンクの提供経験者であり、2017年度ACジャパン支援キャンペーンに出演され、現在も俳優として活躍中の木下ほうかさんが就任しました。若い世代の牽引役として、これからもご協力いただきます。

3 「骨髄バンク全国大会 2019 in 長野」を開催

「骨髄バンク全国大会 2019 in 長野」を9月21日（土）の世界骨髄バンクドナーデーに併せて、JA長野県ビル・アクティーホールで開催、約350人にご来場いただきました。

第1部式典に続き、第2部では、長野赤十字病院 血液内科副部長の植木俊充先生による医療講演「造血幹細胞移植～移植医として伝えたいこと～」。そして移植経験者・笠原千夏子さん、提供経験者・遠藤麻衣さんによる体験者講演が行われました。

第3部では、オープニングに俳優・木下ほうかさんの「骨髄バンクアンバサダー」就任セレモニーが行われました。続いてシンポジウム「ドナー登録者数全国ワーストからの脱出作戦会議！」では7人のシンポジストが出演。移植後に自らボランティア団体を立ち上げた笠原千夏子さん（骨髄バンク長野・ひまわりの会代表）のお話を皮切りに、金子ゆかりさん（諏訪市市長）、小林良清さん（長野市保健所所長）、郡司勝己さん（長野朝日放送 報道制作局長）の興味深いお話がありました。さらに若い世代の代表として、竹内純さん（小川村立小川小学校教諭/骨髄バンクドナー登録説明員）の心温まるお話が続き、提供経験者代表・木下ほうかさん、そして移植経験者代表・池谷有紗さんの心に響く体験談で締めくくられました。

全国大会を通じて、長野県内での自治体やマスコミの地道な取り組みと、明るく活発なボランティアのみなさんがかつてない勢いで行っている活動の様子を知ることができました。

4 10月は「骨髄バンク推進月間」

毎年10月は「骨髄バンク推進月間」です。骨髄バンク事業推進のため、広く骨髄移植に関する正しい知識の啓発およびドナー登録希望者の確保を目的として、1992年に国の通達に基づき制定されました。1991年12月に当法人が設立して国内初の公的骨髄バンク事業がスタートし、翌年骨髄バンク事業開始1周年の節目とともに12月に開催することになりました。2003年度より10月に変更され、現在に至っています。今年も各地で数多くの登録会や普及啓発イベントが行われています。

5 「ドナー休暇制度」の導入、467企業・団体に

働きながらドナーになる方にとって提供しやすい環境作りのため、当法人では全国の企業・団体等に向けて「ドナー休暇制度」の導入を推進しています。導入を確認しているのは467企業・団体です（10月4日現在）。ホームページにドナー休暇制度の導入情報一覧を公開しています。

9月17日には、一般社団法人日本経済団体連合（経団連）の部会「地方・業種団体情報連絡会」でゲストスピーチを行い、「ドナー休暇制度」についてご理解ご協力をお願いをしています。

ご関心のある企業・団体へは当法人の専門職員を派遣して導入に向けたご説明をします。これからも「ドナー休暇制度」の導入をいっそう推進してまいります。

◇HOME > 募金ご協力のお願い > 企業・団体による支援 > ドナー休暇制度導入企業

◇お問い合わせ先：広報渉外部・ドナー休暇制度導入担当 TEL 03-5280-8111



6 ドナー助成制度、新たに7つの市町で導入

新たに7つの市と町で「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が導入されています。全国で587市区町村になります。

助成制度の内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。ホームページにドナー助成制度の問い合わせ先一覧を掲載しています。

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ
> 提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体

■新たに導入が確認された自治体

- 十和田市、八戸市、藤崎町（青森県） ○木曾町、塩尻市（長野県）
- 大豊町（高知県） ○岡垣町（福岡県）

7 2019年度説明員研修会の実施について

2019年度説明員研修会を来年の1月から3月にかけて、以下のとおり全国7か所で開催します。開催場所や研修内容等の詳細は、地区普及広報委員・説明員の皆さまへ後日案内状を送付します。

- 関東甲信越地区（東京会場） 1月11日（土）（調整中）
- 近畿地区（大阪会場） 1月18日（土） 大阪府赤十字血液センター
- 九州地区（福岡会場） 1月25日（土） リファレンス大博多ビル
- 中部地区（名古屋会場） 2月08日（土）（調整中）
- 東北地区（仙台会場） 2月22日（土） 仙都会館
- 北海道地区（札幌会場） 2月29日（土） 北海道立道民活動センター
- 中四国地区（岡山会場） 3月14日（土） ピュアリティまきび

8 日本赤十字社より『BANK! BANK!』vol.16発行

骨髄バンク・さい帯血バンクを身近にするための造血幹細胞事業広報誌『BANK! BANK!（バンクバンク）』の最新号が10月に日本赤十字社より発行されました。今回のテーマは「知っている!? 骨髄提供への道」。提供経験者の小林光さんの体験をもとに、登録から骨髄提供までの流れをわかりやすく紹介しています。ぜひご覧ください。

http://www.bmdc.jrc.or.jp/pamphlet/data/bankbank_16.pdf

9 当法人の会議等開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください（非公開除く）。

会議名	公開・非公開	開催予定
ドナー安全委員会	非公開	10月20日（日）12時半～16時半 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	10月21日（月）18時～20時 廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	11月17日（日）13時～16時 廣瀬第2ビル地下会議室



コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

10 非血縁者間骨髓採取施設認定基準改訂について <採取責任医師の方へ>

当法人および一般社団法人日本造血細胞移植学会が定める「非血縁者間骨髓採取施設認定基準」の条件を一部改訂することになりました。詳細は別紙をご確認ください。

11 「お手紙交換制度」ワーキンググループを設置

骨髓バンクを介した移植・採取後、1年以内に2回まで患者さんとドナーさんはお手紙のやりとりをすることができます。移植患者さん・ドナーさん双方の匿名性やプライバシー保護の観点から、SNSなどへのお手紙の公開を控えていただくよう、ご協力をお願いしてまいりました。

しかし、近年ソーシャルメディアの普及により、誰もがネットワークで情報発信可能になり、いただいたお手紙の画像が、筆跡や内容が読み取れる形でSNS等に掲載されたり、そのままテレビで紹介されたりするケースが増えています。

これにより移植患者さん・ドナーさんの匿名性が維持できなくなる可能性が生じます。万が一、両者が特定されてしまうと骨髓バンク事業の根幹である「提供の無償性」「提供の任意性」※が担保できなくなります。

そこで当法人では、公平・公正な事業運営のためワーキンググループを設置し、「お手紙交換制度」のあり方や運用方法等についての見直しを開始しました。検討結果は、随時ご報告させていただきます。

(※「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」第3条2項に基づく)

12 適合ドナーへのSMS導入トライアル開始のお知らせ(初期コーディネーター)

適合ドナーへのSMS(ショートメッセージサービス)による通知の準備が整いましたので、適合したドナー全員を対象として、本年10月1日発送分からトライアルを開始しました。今後、状況を確認し、継続実施の可否について検討します。

13 コーディネーター養成研修会について

本年6月から一部地域でコーディネーター養成研修会の受講者を募集し、10月4日と5日の両日東京で開講式・集合研修を実施しました。10月から来年3月まで各地区で研修カリキュラムを実施します。研修生の見学・実地研修の際には、調整医師・採取施設の先生方およびコーディネーターの皆さまにご指導いただくこととなりますので、よろしくお願いします。

14 インフルエンザ接種費用と補助 <コーディネーターの方へ>

インフルエンザワクチン接種を希望するコーディネーターに対して、今年度も接種に係る費用を全額補助します。医療機関にてワクチン接種を行った場合は、領収書を添付のうえ、当法人に請求してください。ただし交通費は自己負担とします。接種期間は2020年3月31日までとします。

ドナーの方については、12月から3月に採取の日程が決定(もしくは内定)しているドナーの方が自主的に接種を受ける場合、その接種費用の半額を補助します。ドナーの方から申し出があったときは地区事務局へご連絡ください。